

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1) 子どもの人権や主体性を尊重すること 2) 子どもが思いを十分発揮できること 3) 感性をはぐくんでいく保育園 4) 地域とともに育ちあう保育園 5) 基本的な生活習慣を身につける
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	常に優しく笑顔で子どもや保護者と向き合い、相手の気持ちに配慮ができ、信頼してもらえる人
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	子どもが保護者以外の初めて関わる大人だということをしっかり心にとめて、責任を持って保育に望んでほしい

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	9月1日現在、保育園を利用している全世帯を対象に調査を実施しました。兄弟姉妹のいる世帯は、1世帯として扱い、一番年齢の低いお子さんを対象として回答してもらいました。		
調査方法	無記名方式。QRコードを記載したアンケートの案内を事業所を通じて保護者へ配付し、WEB上でアンケートに回答してもらい、取りまとめました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。		
	利用者総数	18	
	利用者家族総数（世帯）	18	
	共通評価項目による調査対象者数	18	
	共通評価項目による調査の有効回答者数	18	
	利用者総数に対する回答者割合（％）	100 %	

利用者調査全体のコメント

総合的な感想では、「大変満足」12名、「満足」6名であり、利用者全員100％が満足と回答しています。

毎日の保育サービスにおける「子どもの心身の発達」、「子どもの興味や関心」、「職員との信頼関係」、安心・快適性における「病気やケガをした際の職員の対応」、利用者個人の尊重における「保育内容に関する説明」でそれぞれ満足度100％であり、高い満足度がうかがえます。

自由意見では、「毎日、子供達にとって安全で安心な場所を作ってくださり感謝しかないです」、「子供も保育園に行くのが楽しみなようで安心して預けることができています。私自身も先生達と毎日会うことが楽しみになっております。本当に毎日ありがとうございます」、「些細なことも相談できたり、子供の成長と一緒に見守ってくださる先生方には感謝です。先生方の優しい笑顔に子供だけでなく親も元気をもらっています」、「3歳には他の園に転園しなければならないのがとても寂しいことだなと思います」など園に対する感謝の声が寄せられています。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	18	0	0	0
100％の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「先生方や、他の子との関わりを通して、毎日成長を感じています」、「それはとっても感じてます。家ではなかなかできないこと(制作など)をやったり、お友達や先生との関わりのなかでいっぱい刺激をうけてとっても成長しています！」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	18	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「おかげで今ではお歌がとっても上手になりました」、「園での様子を拙いながらも一生懸命報告してくれています。本人にとって毎日が良い刺激になっているんだろうなと感じています」などの声がありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	16	0	0	2
89%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「アレルギー対応をさせていただいており、大変ありがたいです」、「よくお代わりすることがありまして、それは食事が満足している証だと思います」などの声がありました。				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	16	2	0	0
89%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「園庭がない分、お天気の良い日はお散歩や公園へ連れて行ってくれます。いつの間にかバッタに触れるようになっていたり、どんぐりを嬉しそうにお土産で持って帰ってきたり、自然に触れ合う機会は多いと思います」、「先生方がお忙しいなか、季節を感じられる取り組みをさせていただいたり、お散歩で見つけたどんぐりなどをお土産で持って帰ってきてくれたり、子どもを通して私も自然を感じています」などの声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	15	2	0	1
83%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「柔軟に対応してくださりととても助かってます」、「通院などでイレギュラーなお迎えをお願いすることも多いのですが、快くご対応いただいております、大変ありがたいです」などの声がありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	16	1	1	0
89%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「じっくり確認する機会がないのでわかりません」などの声がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	14	3	1	0
78%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「親が参加できる行事は、前の月にわかっていると仕事の調整がしやすいかなと思います」、「親が参加する行事は基本的にはありませんが、ハロウィンの時は仮装させた子供達をお散歩させてくれるので、子供に見つからないように見る楽しさがあります」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	18	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「些細な事も相談しやすいです。特に第一子を育てていると不安や疑問など、多くなりがちですが、その都度相談出来るのでとても心強いです」、「送り迎えの時にお話して、子供の事もよくわかってもらえていると思います。兄弟の話も聞いてくれて先生には感謝の気持ちでいっぱいです」などの声がありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	17	1	0	0
94%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「中に入ることがないので分かりません」などの声がありました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	17	1	0	0
94%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「みなさん清潔感があって、親しみやすい雰囲気です！」などの声がありました。				
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	18	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「少し転んでしまったりした時なども、様子を見てください」とご報告いただいております、安心してお願いできております」などの声がありました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	11	1	0	6
61%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「今までそのようなことはありませんが、普段ご対応いただいている様子から安心してお任せできています」などの声がありました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	17	1	0	0
94%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「送迎時の何気ない会話や連絡帳のコメントでそう感じています」、「上手くお昼寝が出来ない時が続いても、無理に寝かせることはせず、子供の気持ちを大切に一緒に遊んでくださったり、対応が丁寧だと感じます」などの声がありました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	16	0	0	2
89%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	18	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「送迎の時の先生からのお話や、連絡帳のコメントを楽しみにしています」などの声がありました。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	16	2	0	0
89%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「不満は特になく、要望も伝えると対応してくれます」などの声がありました。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	12	3	0	3
67%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「入園前の面談でしっかりと伝えていただきました」、「すみません、説明があったかもしれませんが覚えてません」などの声がありました。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

I 組織マネジメント項目（カテゴリー 1～5、7）

No	共通評価項目		
1	カテゴリー 1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリー 1（1－1）		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 7 / 7
	評価項目 1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目 2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目 3 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点（〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリー 1 の講評		
	<u>職員や保護者に対し、保育理念や保育方針などの周知を図っています</u> 園の保育理念や保育方針はホームページに掲載されているほか、園の入口にも掲示されています。職員は法人本部が実施する入職時の研修で保育理念や保育方針について学びます。その後は園の職員会議で議論する、日々の保育の中で園長が指導や助言をする、職員同士で声をかけるなど理念や方針に触れる機会を得ています。また「入園のしおり」には理念と方針が書かれており、園の見学時に保護者に丁寧に説明したり、登降園時の細かいやりとり、連絡帳、園便りの配布などを通じて、保護者に対して園が目指す保育理念や保育方針への理解を深めています。 <u>園長が中心になって園が目指す保育となるように導いています</u> 園には組織図があり、園長と主任、副主任、保育者の関係性が理解できるようになっています。年度当初の会議で		

	はその年度の職務分担表を公表し、年間行事とその役割分担を伝え、職員一人ひとりの業務内容と責任を明確にしています。園長はこの年度当初の職員会議を通して、園全体の年間保育が確実に実施されるようにリードしています。また園では職員会議が毎月行われ、園長は必ず会議に参加し、リーダーシップを発揮しています。園長は職員が行う保育に対し気になることがあればすぐに指導や助言をするなど、あるべき保育となるように導いています。 <u>職員には職員会議で、保護者にはお知らせなどを通じて重要事項を伝えています</u> 園の各種重要案件は系列園の園長が毎月集まる定例園長会において決定されます。職員にはその会議で決定された重要事項について職員会議で決定経過を含めて説明を行い、全員に伝わるようにしています。急を要する事項を伝える場合は、職員会議を待つことなく日々の保育の中で時間を見つけて伝達しています。保護者にはお知らせを配布したり、入口の掲示板に掲示して重要事項を伝えています。また園が毎月発行する「園だより」では、例えば4月号では年度の担任を紹介するなど保護者にとって大切な内容についてもお知らせしています。		
2	カテゴリー 2		
	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
	サブカテゴリー 1 (2-1)		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6 / 6
	評価項目 1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評点 (○○○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
	サブカテゴリー 2 (2-2)		
	実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5 / 5
	評価項目 1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点 (○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
	評価項目 2 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当

	●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		○非該当
	カテゴリー 2 の講評			
	多様な手段を用いて、保護者や職員の意向を把握し、地域情報を収集しています 保護者の意向は毎年年度末に実施している「保育園講評のお願い」によって確認しています。質問事項が書かれたアンケート用紙を保護者に配付し、結果をまとめて最終的に保護者にフィードバックしています。また職員の意向や要望は職員の自己評価や法人本部が行う自己申告書及び意向調査によって把握しています。その他、区の小規模保育事業者の集まりや区が発行する「あだち教育だより」を通じて地域の情報を収集しています。厚生労働省や東京都社会福祉協議会などからも子どもを含む福祉全般の動向などの情報の把握に努めています。 事業計画に則って、子どもが主体的に関われる質の高い行事を実施しています 園には中期・長期計画がありますが、内容が計画の要件を満たしていないように感じられました。計画とは目標とする保育を実現するためにその方法や手段を記したものであるため、今後検討されることが期待されます。一方、事業計画は当該年度の予定や計画が記されており、それに基づいて日々の保育を実施しています。特に年間行事予定は前年度末に誰がどの行事を担当するかを職員間で話し合っており、そのため職員は自分の担当に責任をもって取り組んでいます。各行事に創意工夫がされており、子どもが主体的に関われる行事となっています。 行事の後には必ず振り返りを行い、次の取り組みにつながる仕組みを整えています 行事を実施する際には必ず行事計画を記録しています。行事計画書には、行事の内容と注意点、反省、園長のコメントを書くようにしており、行事が終わった後もそのままにせず、次回に向けてよりよい行事となるように必ず振り返りを行い、記録に残しています。行事によっては保護者にアンケートを記載してもらい、それを踏まえて次の行事に活かしています。計画を立案し、それに基づき実施し、振り返りを行い、次につなげるというPDCAサイクルの仕組みが整っており、保育の質が高まるように努めています。			
	3			
カテゴリー 3				
経営における社会的責任				
サブカテゴリー 1（3-1）				
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 2 / 2		
評価項目 1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点（○○）				
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる			○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。			○非該当
サブカテゴリー 2（3-2）				
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4		
評価項目 1 利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点（○○）				
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている			○非該当

●あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目 2 虐待に対し組織的な防振対策と対応している 評点（〇〇）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー 3（3－3）		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5
評価項目 1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点（〇〇）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目 2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点（〇〇〇）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 3 の講評		
<u>苦情相談は受付担当者と責任者を明確にし、第三者を交えた体制を整えています</u> 苦情解決制度については、入園時に重要事項説明書を用いて保護者に説明しています。重要事項説明書には相談・苦情受付担当者と責任者、第三者委員、区の子ども家庭部の連絡先が記されており、第三者委員は園の入口に掲示されています。苦情解決マニュアルが整備されており、保護者から苦情や要望があった場合には、小さなことでも園長に報告するように職員には周知が図られています。日ごろから保護者とはオープンに関わっており、苦情等はほとんどありませんが、必要に応じて第三者委員や外部機関を交えて対応できる体制を整えています。 <u>法人が中心となって子どもへの虐待防止や権利擁護に力を入れています</u> 虐待防止に関しては法人全体として力を入れています。法人本部では子どもの虐待予防や権利擁護に関する研修を企画・実施しており、職員全員を対象に年 1 回必ず研修を行っています。参加できなかった職員がいる場合には、園長が必ず伝達講習を行い、理解に努めています。また年に一度、職員の自己評価を行っており、職員は自らの保育について振り返る機会を得ています。保護者に対しては子育てに対するストレスの軽減を図るため普段からコミュニケーションを大切にし、万が一家庭での虐待が発見された場合でも関係機関と連携できる体制を備えています。 <u>地域との関係を深め、地域が子どもを見守ってくれる環境づくりに取り組んでいます</u> 園では地域の看護学生や保育士養成校の実習生を受け入れ、専門性を活かした地域貢献に取り組んでいます。園長はいずれ子育てをする学生が実際に保育の現場を自分の目で見たり、体験することは今後の彼らの人生に大切であると考えており、できる限り受け入れるように努めています。園のそばには商店街があり、散歩の際には挨拶を交		

	わしたり、また公園に花を植えたり、更に商店の店頭絵に展示してもらおうなど地域との関わりを大切にしています。今後も子どもを地域に見守ってもらえるような環境となるように連携を図っていきたいと考えています。		
4	カテゴリー 4		
	リスクマネジメント		
	サブカテゴリー 1 (4-1)		
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5 / 5
	評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 (〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
	●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
	●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当
	●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
	●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
	サブカテゴリー 2 (4-2)		
	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4 / 4
	評価項目 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点 (〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当	
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当	
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当	
カテゴリー4の講評			
様々なリスクを想定し、不測の事態に備えてそれぞれの訓練を実施しています 園では子どもの安全を第一に考え、その周りに存在するリスクについて様々な対応策を講じています。園では主に地震や水害を想定した事業継続計画（BCP）を策定しており、それを踏まえて必要物品の備蓄をしています。毎月避難訓練を実施しており、年に1回災害時引き取り訓練やそれに伴う伝言ダイヤル訓練を行っています。伝言ダイヤルは実際に体験してみるとそれほど難しくないと感じてもらえたと喜んでいただいています。その他定期的に不審者訓練なども行われ、不測の事態に備えすべての職員が真剣に訓練に取り組んでいます。 小さなリスクにも配慮し、事故が起こった場合は報告書を踏まえて再発を防止しています 園では散歩によく出かけますが、散歩から戻った時には必ず点呼をとり記録に残しています。日常的にも事故が起きないように注意をしていますが、事故が発生してしまった場合には事故報告書を記録し、同じ事故を繰り返さな			

	いようしています。事故報告書の様式は「災害時の状況」「事故・事件の課題及び防止策」「事故・事件報告書提出後の経過」となっており、振り返りをした後もその後の経過まで追いかける工夫がされています。ただ事故報告書やヒヤリハットの提出件数が少ないため、リスク管理をより徹底するためにも検討することが望まれます。 個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、文書やデータの漏洩に気をつけています 園では個人情報保護規程に基づいて利用者の個人情報を取り扱っています。入園時には子どもの写真に対する取り扱いについてアンケートをとっており、ホームページや園内掲示物等への掲載可否について保護者の確認をしています。日々の保育に関する子どもの記録は基本的には文書を活用しており、必要時に鍵のかかる書棚から取り出し、使用後はその棚に戻すことを徹底しています。夜間には書棚に鍵をかけ退出します。またパソコンにはパスワードが設定されており、アクセス制限がされているため、第三者が閲覧することは困難です。		
5	カテゴリー 5		
	職員と組織の能力向上		
	サブカテゴリー 1 (5-1)		
	事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 10 / 12
	評価項目 1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
	評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点 (●●)		
	評価	標準項目	
	○あり ●なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
	○あり ●なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
	評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点 (○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当	
評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点 (○○○○)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金・昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	○非該当	
●あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当	

●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー 2 (5 - 2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3 / 3
評価項目 1		
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点 (○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 5 の講評		
<u>園と法人本部が連携し、様々な手段を通じて必要な人材の確保に努めています</u> 職員の採用は法人本部と連携し、園が求める人材の確保に努めています。募集には求人サイトへの掲載や就職フェスへの参加、大学や専門学校等を訪問しPR活動を行うなど様々な機会をとらえて取り組んでいます。園の掲示板に募集広告を貼り出したところ応募があったこともあり、人材確保が難しい中、創意工夫をしています。異動や配置については採用時に説明書で伝え、園長会で検討したり、年に一度の意向調査などを踏まえて決定しています。意向調査は書面だけでなく、併せて面談を行いながら職員の意向を把握するなど丁寧に行っています。 <u>個人別の研修計画を策定し、職員の希望を踏まえた能力向上を図っています</u> 園では職員一人ひとりの意向を踏まえて個人別の研修計画を策定し、身に付けたいスキルや専門知識、専門資格の取得を盛り込むなど職員の能力向上に力を入れています。必要な研修は法人が準備しているため希望する研修は受講しやすいメリットがあるようです。ただ職員がどのような形で経験を積んだり、どのような資格を取得することでキャリアアップしていけるかを示したいいわゆるキャリアパスを確認することはできませんでした。小規模な事業所にはキャリアパスはそぐわないかもしれませんが、法人と連携を図り、職員に周知することが望まれます。 <u>園長は職場の人間関係を良好に保つためコミュニケーションを大切にしています</u> 園長は日々の保育の中での職員とのコミュニケーションを大切にしています。園長は職員の意見を否定しない、小さな意見も聞く、感謝の言葉を伝えるなど、人間関係を良好に保つポイントについて日常的に配慮しています。結果、お互いが気兼ねなく発言できる雰囲気となり、職員の一体感が醸成され、子どもにも保護者にも丁寧な関りができています。また得意な人が得意なことをし、お互いをカバーし合えるような役割分担としています。職員アンケートでも「職員同士が仲良く」「連携」「職員同士声を掛け合う」などチームワークのよさを確認できました。		

7	カテゴリー 7	
	事業所の重要課題に対する組織的な活動	
	サブカテゴリー 1 (7 - 1)	
	事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
	評価項目 1	
	事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その1）	
	前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）	
	法人が実施する定例園長会において、系列園での各園の保育状況を話し合う中で、子ども主体でない保育が見られるという報告があり、前年度は子ども一人ひとりの人権に配慮した保育を行うという目標を立てました。そのため前年度は法人が中心となって人権研修を行い、当園の職員も全員受講しました。研修後は園で振り返りを行い、日々の保育の中で職員同士が声を掛け合い、子どもを主体とする保育とは何かを考えることを通じて人権に配慮した保育への意識が高まってきました。特に子ども目線で保育することに配慮し、例えばクリスマスの飾りを製作するときに、保護者が見て見栄えのよい作品を作るより、見た目は悪くても子ども自身が作りたいと思うものを作るように心がけるなど、検討を重ねました。今年度は子どもがやりたいことを積極的に取り入れた行事を行い、また子どもが作りたいものを作るなど、子どもが主体となる行事の計画や製作など日々の保育に創意工夫をしています	
	目標の設定と 取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
	取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない（目標設定を行っていない場合も含む） ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である	
評価項目 1 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評		
園長は研修で学んだ知識やノウハウを現場で活かすことを大切に考えています。前年度、法人研修で学習した内容を日々の保育に活かすために研修を振り返り、子ども主体の保育とは何かを考えたり、職員を巻き込んで話し合ったりしました。研修を受講しても、一般的にはなかなか日々の業務に活かすことができない中、園長、職員が話し合いを通して創意工夫をし、実践に至っていることは素晴らしい取り組みと言えます。子どもが自分でやりたいことを決め、成功しても失敗しても最後までやり遂げる経験を積んだり、子どもが面白そうと思い、のめり込むことができる環境が整いつつあります。これからも子ども一人ひとりが自由に表現でき、主体性を高めていける園となることが大いに期待されます。		

評価項目 2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）	
前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）	
前々年度まではコロナ禍にあり、子どもと保護者が園や戸外で一緒に過ごす保育参観などはまったく実施できませんでした。園としては園で子どもがどのように過ごしているか、普段家では見られない子どもの姿などを保護者に観てもらうために保育参観の機会をうかがっていました。そこでコロナが5類に移行した前年度、ハロウィンとかけっこ大会、日常行われる散歩の様子を保護者に観てもらうという目標を立てました。0～2歳児の子どもは親の姿を見つけると親もとにいるほうがよくなり、その後保育ができないこともあるため、遠くから見てもらうだけにしました。ただ園としても園で行われている実際の保育を保護者に観てもらったり、感じてもらいたいという思いが強くあり、今年度は保護者も保育に加わる保育参加を行いました。前年同様ハロウィン、かけっこ大会、日々の保育に保護者を招きました。保育参加後に保護者にアンケートを行い、「職員が丁寧に子どもに接していることを間近で感じられた」など保護者からは高評価を得られました。	
目標の設定と 取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない（目標設定を行っていない場合も含む） ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
子どもを園に預けてから実際にどのような保育が行われているのか保護者はなかなか知る機会がないため、実際の保育の様子を保護者が観たり、体験する機会を提供できたことは非常によい取り組みと言えます。0～2歳児の年少者は親の顔を見ると帰りたくなってしまうため、遠目で保育を見守ってもらうなど工夫しながら保育の様子を観てもらするなどその努力も評価できます。保育参加の際には、子どもがトイレに行った時に衝立を立てることで目隠しをする配慮などが保護者にも伝わり、「ここまでしてくれているのですね」との声が聞けたことは、保育者にとってもモチベーションにつながる副次的な効果があったと思われます。保育参加の後にアンケートを行い、次の取り組みに活かそうという姿勢も素晴らしく、今後の保育が大いに期待されます。	

〔サービス分析：小規模保育事業〕

II サービス提供のプロセス項目（カテゴリー 6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリー 1		
	サービス情報の提供		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4
	評価項目 1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点（〇〇〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー 1 の講評		
	<u>ホームページでは保育理念の実践を園長メッセージや写真で分かりやすく伝えています</u> ホームページには理念や方針とともに、保育目標として「丈夫な身体、元気な子」、「明るくやさしく、素直な子」、「みんなと仲良く・遊べる子」を掲げ、子どもたちの様々な場面の写真を掲載してイメージを分かりやすく伝えています。食育の取り組みは、目標と年齢別のねらいを記載し、特に0歳児の離乳食については段階的に記載しています。アレルギー児への対応も伝えています。園長のメッセージや行事予定、重要事項説明書を掲載し、入園希望者が知りたい情報提供に努めています。また、運営法人の幅広い福祉事業からも運営姿勢を伝えています。 <u>区の保育コンシェルジュなどと連携し、地域の子育てを支援しています</u> 園の情報は区のホームページ及び様々な法人が運営する保育園検索サイトに掲載されています。定員に空きが生じた場合は、速やかに区のホームページに掲載されています。区の保育コンシェルジュは、地域子育て支援事業の拠点「子育てサロン」での出張相談及びオンラインでの子育て相談や預け先説明会などで区内の子育てを支援しています。園の情報は、保育コンシェルジュを介して相談者へ直接紹介されています。園のホームページの問い合わせはじめ、区の子育て事業などと連携して入園につなげ、園は地域の子育てを支援しています。 <u>見学者には子どもたちの活動する姿を見てもらい小規模園の特徴や魅力を伝えています</u> 園の問合せや見学には年間を通して園長が対応しています。秋以降は問合せ数が増え、園内見学は平日の午睡時間を避けて、柔軟に予約を受付けています。親子での来園も受入れ、子どもたちの活動する姿を見もらう事で小規模園の雰囲気が伝わるよう心がけています。園では「小規模保育室見学者の方へ」を作成し、理念や方針、保育目標、区が定めた基準（保育士等の設置、給食、防災、衛生）を満たした認可保育園である事などを分かりやすく伝えています。また、見学中の対話から把握した子どもや保護者の情報は見学者ファイルに記録しています。		
2	サブカテゴリー 2		
	サービスの開始・終了時の対応		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6 / 6
	評価項目 1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点（〇〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

	評価項目 2		
	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点 (〇〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
	サブカテゴリー 2 の講評		
	入園前面談では園の重要事項や基本ルールを説明し、保護者の意向を把握しています 入園前には個別に入園説明と面談を行っています。保護者からは、非常災害の緊急連絡先、利用料負担軽減申請書、家庭状況、健康記録、写真掲載への承諾についての同意書への記入・提出を受けています。重要事項説明書は読み合わせて同意を得ています。入園のしおりでは、園長のメッセージはじめ、大切にしていること、理念、就学までを見通した保育、パートナーとして保護者と関わる職員の姿とともに、食事、アレルギー対応、衛生管理、病気時対応、保護者との連絡、緊急時対応、苦情・相談などを説明しています。面談では保護者の意向を把握しています。 入園初日は1時間保育から開始し、子どもや保護者の不安やストレス軽減を図っています 入園のしおりには、入園当初の慣らし保育は特別な期間を設定しないで必要な場合は保護者と相談の上でゆっくりと進める事を記し、面談で意向を確認しています。入園初日は1時間保育で様子をみて、翌日からは保護者や子どもの状況等に応じ、1日～2週間程で通常時間の利用まで進めています。子どもの心の拠り所になっているタオルやぬいぐるみなどの持参、宗教的な除去食への対応もしています。新たな環境で子ども及び保護者の不安やストレスの軽減に向け、職員は保護者との連絡や対話を通じ、寄り添った対応を心がけています。 職員は保護者の子育てパートナーとして卒園に向け面談や相談に積極的に対応しています 生後57日から2歳児終了まで受入れる当園は、卒園に向けて保護者の面談や相談に積極的に取り組んでいます。相談の内容は、子どもの発育状況やこれからの成長はじめ、3歳からの入園先の選択、環境変化への不安など様々です。保護者にとっては0歳から不安や悩みの多い子育て期間にパートナーとして寄り添い、子どもを理解している園長や職員への相談は多くあります。園からは、区内保育所掲載紙など必要な情報提供や手続きの案内を行い、退園後も相談に応じることを伝えています。3月下旬にはお別れ遠足と終了式を催しています。		
3	サブカテゴリー 3		
	個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12 / 12
	評価項目 1		
	定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点 (〇〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
	●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
	評価項目 2		
	全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点 (〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当
	●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしてい	○非該当

		る	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している		○非該当
評価項目 3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点（○○）			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		○非該当
評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している 評点（○○）			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している		○非該当
サブカテゴリー 3 の講評			
<u>誕生から入園後の子どもの成長を記録する仕組みを整備して指導計画に反映しています</u> 子どもに関する誕生から入園までの情報は、「家庭状況」、「生活状況」、「健康記録」で把握し、記載内容は更新されています。入園以降は、日々の子どもの様子や活動、保護者との対話などを日誌や連絡ノートに毎日記録しています。子ども一人ひとりの児童票は、月齢・年齢ごとの「発達の記録」の項目に○や◎を記し、詳細な発達状況の記録を更新し成長過程を把握しています。児童票の記録は、子どもの個別指導計画や年齢ごとの各指導計画を作成時のねらいや具体的な保育に反映し、保育内容の評価においても活用しています。			
<u>保育・食育・保健の指導計画ではクラス及び子ども一人ひとりの成長を後押ししています</u> 園は、全体的な計画に基づき、保育及び食育と保健の年間指導計画を年齢別に作成しています。子どもの状況や保護者の要望を反映して計画し、月間指導計画に展開し、日案・週案により実践を目指して、自己評価を次の計画に活かしています。また、月間個別指導計画では、一人ひとりに対して項目ごとのねらい・配慮を計画し、反省・評価を行って成長を後押ししています。クラスの日案・週案には目標とねらいを掲げ活動・配慮事項を明記し、日誌には反省・考察及び子どもごとの姿と配慮・反省を記しています。			
<u>園では子どもや保護者に関する情報を全職員で共有し、誰もが対応を可能としています</u> 一人ひとりの記録や情報は子どもごとの児童票ファイルに保管し、全職員が確認しています。月 1 回以上開催する職員会議は、各クラスから報告される活動や保育参加、ヒヤリハットなどを共有します。法人の園長会報告、「命の安全教育」や「虫刺され」など園内研修、給食会議からの一人ひとりの状況、係りからの行事予定や報告などを共有します。避難訓練や保護者会、行事の打合せなど、必要に応じて随時開催するミーティングでは、実行ポイントや体制などを共有します。子どもや保護者に関する送りは連絡ノートで共有し、職員誰もが対応できる体制です。			
5	サブカテゴリー 5		
プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5 / 5
評価項目 1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点（○○）			
評価	標準項目		

	●あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
	評価項目 2		
	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点（○○○）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
	サブカテゴリー 5 の講評		
	個人情報 は 都 道 同 意 を 得 た 上 で 使 用 し、子 童 の プ ラ イ バ シ ー の 保 護 に も 配 慮 し て い ま す 園では法人が定める個人情報管理規程に基づき、子どもや保護者、職員の個人情報保護に関する方針及び取扱いについて、入園及び入職時に説明しています。関係機関への子どもの情報提供やホームページへの子どもの写真掲載など、個人情報に関する同意書面を提示し、同意を得た上で情報を使用しています。また、日常の保育ではプライバシーの保護への取り組みとして、水遊びを行う時はシートを用いて周辺近隣からの視線を遮ったり、室内での着替えやオムツ交換時にも周囲の視線を遮ることを基本として、衝立を使用しています。 「保育実践ふり返りシート」を導入し、子ども一人ひとりを尊重する保育に努めています 法人は研修計画の立案にあたり、保育者に求められる9つの専門性の1つとして「人権に関する理解（不適切なかわり・虐待）」をあげて、新任職員研修には「人権意識の高揚」を実施しています。園内研修では、「人権尊重教育の必要性の理解」を学び、子どもの行為や行動から意思を受けとめ、落ち着く空間づくりなど、一人ひとりの尊重に努めています。また、足立区教育・保育の質ガイドラインとして作成した、「保育実践ふり返りシート」を導入し、職員が自らの保育を自己評価することで、子ども一人ひとりを尊重する保育の実践に努めています。 虐待防止への取り組みではマニュアルの整備や研修を実施し、区役所とも連携しています 園に整備している「虐待対応マニュアル」には、虐待の定義、保育園の役割（子どもへの対応、保護者への対応）、発見のポイントとチェックシートなどで、虐待防止を詳しく説明しています。今年度の法人研修では、園長・主任・新任・園長推薦や希望者向けに、虐待防止及び発生時の対応について実施しています。区の保健センター主催の虐待防止に関する研修にも参加し、園内で共有しています。園では、入園時に提出の「家族状況」等から把握し、必要に応じて区役所と連携を図って対応しています。		
6	サブカテゴリー 6		
	事業所業務の標準化		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5
	評価項目 1		
	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点（○○○）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
	評価項目 2		
	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリー 6 の講評		
<u>園の運営に必要な手順書やマニュアルが整備され、職員はいつでも閲覧できます</u> 手順書・マニュアル類には「保健マニュアル」「食中毒対応マニュアル」「安全管理マニュアル」「不審者対応マニュアル」など食事や健康管理、危機管理、苦情解決などが揃っており、園の運営に関する様々な場面に対応したものが整備されています。こうしたマニュアルは書棚に置かれており、いつでも閲覧することができます。また職員は入職時に法人本部が主催する研修に参加し、接遇マニュアルなどを配布されます。マニュアルを踏まえて実施する日々の保育において、職員からの意見や要望等は無下にせず、すぐ検討するようにしています。 <u>見直しの時期を明確にするためにもマニュアルには更新年月を入れることが望まれます</u> 手順書やマニュアルは基本部分を法人が作成し、園の実情に応じて微調整しています。そのため見直しについては法人と連携しながら行っています。ただ手順書やマニュアルには作成された年月や見直された日付等が記載されていませんでした。そのため当該マニュアルが最新のものであるかどうか確認できませんでした。保育も日進月歩で時代の要請によって見直しを迫られることもあると思われます。マニュアルの内容が最新のものであるか確実に把握できるようにするためにも、マニュアルには作成・更新年月等を記入することが望まれます。		

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー 6-4）

		サブカテゴリー 4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3 4 / 3 4	
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている 評点（〇〇〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつぎ等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
評価項目 1 の講評			
<u>職員は研修で学び、遊びのコーナーや手づくり玩具など保育環境を工夫しています</u> 入園前の子どもの姿や生活は入園時の提出書類や面談で把握しています。送迎時の保護者との対話や連絡帳からも保護者や子どもの価値観や個性を把握し、子どもの行動から意思を汲み取っています。個別指導計画の配慮事項には、生活や遊びや活動を楽しめるよう、子ども一人ひとりの自発性を尊重しつつ、環境の工夫や声かけを記載しています。保育環境については、法人のスキルアップ研修や園内研修で、遊びの実践、教材づくり、乳幼児の実態と保育者の援助などを学んでいます。遊びのコーナーや手づくり玩具など、保育環境の工夫に取り組んでいます。 <u>配慮を要する子どもについても、同じ環境の中で個別対応により成長を援助しています</u> 職員は、園内研修で「人権尊重教育の必要性の理解」を学び、子ども同士が認め合い尊重する心を育てるために、適切な言葉かけや配慮した対応に努めています。保護者が外国人のケースや育児困難家庭の受入れでは、個別支援計画の配慮事項に個別対応や言葉かけなどを記入し、職員誰もが対応できるようにしています。また、配慮を要する子どもについては、同じ環境の中で、それぞれの援助を見聞きや経験することが刺激となって成長するよう指導しています。 <u>園内研修で乳幼児理解を深め、子どものトラブルにはそれぞれの想いに寄り添っています</u> 1、2歳児は言葉で思いを伝えることがもどかしいために、おもちゃや場所の取り合いなど、噛みつきにより自己主張するケースが日誌に記録されています。職員は「乳幼児理解と保育者の援助」をテーマとした園内研修で、乳幼児理解を深める際は、さまざまな視点から子どもを見る必要性や自分の見方の傾向に気づくことが大切として、学んでいます。また外部研修からは「気になる子への接し方」を学んだ職員が、園内報告で共有しています。子ども同士のトラブルには一方的な判断や思い込みで決めつけず、それぞれの想いに寄り添った対応を実践しています。			
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている 評点（〇〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当

	●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
	評価項目2の講評		
	<u>子どもの1日の生活のリズムでは自宅と連続した援助に努め助言も行っています</u> 登園時には保護者が記入した連絡帳と口頭確認で、朝までの自宅での健康・食欲の状態など把握しています。園は、1歳児から2歳児の受入れにあたり、1日の生活のリズムの連続性を大事に保育を行っています。0歳児は特に、検温及び登園～降園までの排泄（便の状態と尿）と食事（主食・副食・牛乳・麦茶）を子ども一人ひとりの「健康観察シート」に記入し、家庭と連携した援助に用いています。降園時には、園での子どもの睡眠時間や食の形態、健康状態、子どもの活動やエピソードを伝え、場合によっては家庭での配慮など、助言を行っています。		
	<u>子どもの生活習慣が無理なく身につくように個別の指導に取り組んでいます</u> 基本的な生活習慣については、月齢だけでなく子ども一人ひとりの発達状況や家庭環境に応じ、無理がないよう援助しています。個別指導計画では、着衣や睡眠、友だちとの関わりや想いを伝えることなどへの保育者の配慮と働きかけを計画しています。できないことを手伝い、取り組み意欲や自分で出来た達成感を一緒に喜びます。挨拶やおもちゃを手渡し・受取ることを楽しんで、他者とのコミュニケーションや言葉での表現につなげています。午睡時、目を覚ました子どもには、絵本を読み静かに過ごしています。		
	<u>家庭と連携・協力し合い、子どもの成長や発達を喜んでいます</u> 園では家庭と連携・協力し合い、子どもの成長や発達を共に喜ぶことに努めています。園での子どもの遊びや活動の様子、行事の際の写真など定期的に掲示して、保護者に伝えています。その日の子どもの様子は連絡帳で報告するとともに、職員間で子ども一人ひとりのエピソードも共有し、降園時に保護者に口頭で伝えています。お迎えが祖父母の場合には、母親など保護者に改めて電話で直接報告も行っています。		
3	評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点（○○○○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
	●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
	●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
	評価項目3の講評		
	<u>職員手づくり環境で子どもは自発的に遊び、周りの子どもの自然な参加を誘っています</u> 園は、1フロアの空間を年齢別に3つの保育室としています。保育室には手作りのパーティションも用意しています。子どもが選んで遊べるよう、おもちゃはそれぞれ籠に入れて写真を貼り、片付けにもつなげています。牛乳パックを使用した手づくりのブロックは、椅子や机、車や電車など見立て遊びで変化します。また、子どもに最も身近な手づくりのキッチンセットでは子どもが製作した野菜や果物を用い、自発的にままごと遊びが始まります。周りの子には手作り野菜を手渡すなど、自然な参加を誘っています。		
	<u>子どもが楽しめることを第一に自然に言葉がでることや自由な表現の機会を設けています</u> 園では、子どもが歌に合わせて体を動かし、絵本を読み手をたたき、音の出る手作りおもちゃで遊ぶなど楽しい場面を多く設け、見立て遊びできっかけをつくるなど、自然な形で言葉が出るように努めています。職員は、子ども		

	が信頼関係の中で言葉を発することを研修で学び、愛着関係づくりとともに、手本となる言葉遣いも心がけています。また、運動会やかけっこ大会、ハロウィンの仮装など、さまざまな機会を設けて、子どもたちが楽しめることを第一に、自由な表現を楽しみ、自然に喜びの声を上げる機会を大切にしています。 <u>子どもたちは毎日の戸外遊びや散歩で季節ごとの自然に触れ発見や驚きを体験しています</u> 園は周辺にたくさんの公園がある立地に恵まれ、雨天以外は必ず戸外遊びや散歩を行い、その日の散歩マップを玄関に掲示しています。自然を感じられるよう、散歩の途中で立ち止まって花や虫を見つけたり、水たまりに張った氷に触れて季節の発見や驚きを体験するなど行っています。また、散歩時の交通ルール、遊びの中では順番を待つなどルールがあることを知ることができるよう、職員は働きかけています。散歩から帰った1、2歳の子どもたちは、やや興奮気味に「ただいま」や「んま～」など言葉を発しています。														
4	評価項目 4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している 評点（〇〇〇） <table><tr><th>評価</th><th colspan="2">標準項目</th></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている</td><td>○非該当</td></tr></table> 評価項目 4 の講評 <u>子ども主体の行事は興味や関心ある「したいこと」を計画し子どもの意欲を高めています</u> 園では、行事は子ども主体という職員の共通認識のもと、子どもたちがワクワクし楽しい経験ができる機会としています。普段の保育の中で、「見たい」「やりたい」と興味や関心を示すことを職員で出し合い、行事を計画します。5月の遠足ごっこ、10月の運動会ごっこ、11月の芋ほりごっこ、2月の劇あそびごっこなどです。かけっこ大会は、日常の散歩でかけっこをする公園を会場に、0歳クラスのコースも設け、子どもたちの「もう1回走りたい」の多くの声を叶えました。また毎月の誕生会は、誕生月の子どもが主役を満喫する日として計画しています。 <u>園では一人ひとりのやる気や頑張りを集めて楽しさが大きく膨らむ結果を生んでいます</u> 日ごろから子ども一人ひとりのやる気や頑張りで大きな作品を作り上げています。運動会ごっこにおいても同様に、それぞれのやりたい競技などが大きな行事を形づくっています。子どもたちにとって、みんなで一緒にやる楽しさを味わう経験の機会として計画しています。年間を通してすべての行事は、いずれも子ども一人ひとりのやる気や頑張りが集積して楽しさが大きく膨らむ結果を生んでいます。保護者アンケートでは、活動は「心身の発達に役立っている」、「興味や関心を持って行えている」への「はい」の回答が100%で、高い満足度です。 <u>保護者は行事参加で子どもとともに高揚感を楽しみ園とのパートナー関係を高めています</u> 年度初めに配付する「年間行事予定表」には、保護者が参加可能な行事が入る場合があることを記しています。今年の全園児で行うハロウィンには、0歳児の保育参加を行いました。当日は各々仮装をした子どもたちが近隣商店を巡り、預けてあるお菓子を振る舞われます。参加の保護者は、オムツ交換など出発前の準備から参加し、子どもたちのワクワクした高揚感を楽しみました。保護者と子どもたちと園と商店街との顔馴染みの関係が深まりました。また、かけっこ大会は親子競技に参加の保護者で賑わい、園と保護者のパートナー関係をさらに高めています。			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当	●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当	●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当													
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当													
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当													
5	評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている 評点（〇〇） <table><tr><th>評価</th><th colspan="2">標準項目</th></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている</td><td>○非該当</td></tr></table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当			
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当													
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当													

	評価項目 5 の講評																	
	<u>長時間保育への配慮は個別指導計画に明記し、子ども状況に応じた保育に努めています</u> 園は7：30～18：30の保育標準時間で11時間保育の子どもと8：30～16：30の保育短時間で朝夕の延長保育利用する子どもがいます。個別指導計画には長時間保育欄を設け、1対1の関りを持ち満たされるように配慮、体力に合わせて午前睡の時間を調節し機嫌良く過ごせるよう配慮などを計画しています。状況に応じコーナーで静かに過ごすなど連絡ノートで送りし、保護者に伝えています。また、園のBCPには、延長保育を含めた保育室での災害発生時の対応を明記し、周知しています。 <u>朝夕の異年齢の合同保育で過ごす時間にも子ども一人ひとりの意思を尊重しています</u> 子どもたちは、いつも使わないおもちゃを選んで遊んだり、床に道路シートを敷いて車や電車などを走らせたり、パズルを広げたり、朝夕は日中と違う過ごし方を楽しんでいます。異年齢の合同で過ごす時間でも、体を動かしたい子が活動的に遊ぶ場合は、職員は怪我防止など子どもの安全を見守っています。子どもによっては、ゆったりとした時間の中でスキンシップをたっぷり取り、特別感が味わえるように努めています。また、異年齢の合同保育では、小さい子を可愛いと思う仕草や大きい子を真似るなどの関係も生まれています。																	
6	評価項目 6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している 評点（〇〇〇〇） <table><tr><th>評価</th><th colspan="2">標準項目</th></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている</td><td>○非該当</td></tr></table> 評価項目 6 の講評 <u>生活のリズムに配慮しながら、好きなものを楽しく食べられるよう努めています</u> 園では午前中の戸外遊びや散歩など、子どものお腹が空く生活のリズムに配慮して、好きな物を美味しく楽しく食べられるように努めています。栄養バランスに考慮した昼食とおやつ、昼と夕の離乳食の献立は、管理栄養士と調理担当職員が作成し、調理室で作りたてを提供しています。大きさや軟らかさなど食形態は、月齢や体調など個別に対応しています。子ども一人ひとりの食経験や嗜好にも配慮し、完食やお代わりを経験することで食への意欲を育んでいます。また、保護者への献立見本として、写真を掲示しています。 <u>栄養素分けや数値及びアレルギー食品を記した献立表と離乳食献立表を備えています</u> 園はアレルギー対応マニュアルを整備し、入園時にアンケートで確認し、定期的に医師の指示書をもらい受けています。献立表には献立に含まれるアレルギー食品を記し、園長が子どもごとにチェックし、保護者と共有しています。調理室には除去食や盛付けなど個別対応カードを備え、調理担当と職員が確認し、専用トレイにて本人確認の上で提供しています。離乳食は、子どものペースで進め、初期・中期・後期の献立表には使用食材一覧を記し、家庭で体験した上で摂食しています。また、必要に応じて宗教食にも相談に対応する体制があります。 <u>目標「食べることを楽しむ元気な子・食を営む力の基礎を培う」で食育を計画しています</u> 園の年間食育指導計画は「食べることを楽しむ元気な子・食を営む力の基礎を培う」を目標に、クラスごとと行事食について1年を3期に分けて、ねらいと環境設定を計画しています。子どもたちは、カボチャやトウモロコシ、キャベツに触り、皮むきで匂いを感じ、芋掘りごっこでは食材に親しんでいます。製作した団子、野菜や果物をキッチンセットで、見立て遊び、野菜スタンプでアート製作などを楽しんでいます。食具の使い方、背を伸ばして食事、お当番役など幅広く学んでいます。また、保護者には食育だよりで、食にまつわる話題を提供しています。			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当
評価	標準項目																	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当																
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当																
●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当																
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当																
7	評価項目 7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点（〇〇〇）																	

	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
	●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当
評価項目 7 の講評			
<u>子どもが自ら病気や怪我を防ぐことができるように生活や活動の場面で育んでいます</u> 園では健康に関して、保健計画、健康管理計画、ヒヤリハット、感染症マニュアルなどを整備しています。手の洗い方やうがいについては、子どもが自ら病気やケガから身を守るため大切なこととして、絵本や生活場面で日常的に伝えています。戸外遊びや散歩に出かける時は、道の歩き方や信号の見方、公園では遊具の使い方を見せて危ないこと説明し、園に帰ったら手洗いやうがいをして、感染症の防止に努めています。また、保護者には毎月の園だよりの紙面に「ほけんだより」として、家庭でできる子どもや家族の健康情報や留意点などを掲載しています。 <u>毎日の健康観察、毎月の身体検査、年2回の健康診断で健康状態を把握しています</u> 入園時には健康診断書及び「健康記録」で病歴・予防接種の記録やアレルギーなどを把握し、与薬は行わないことを伝えてしています。入園後は、嘱託医による健康診断を年2回実施し、毎月の身体計測とともに、子どもの健康や成長を保護者と相互に把握しています。園は医療的ケアを要する子どもの受入れについて、専門機関と連携する体制があります。職員は登園する子どもの検温と健康観察結果を、「健康観察シート」に記入し、健康状態を把握しています。不調をみとめた場合は園長を介し、保護者に連絡して受診を勧めています。 <u>入園のしおりや重要事項説明書などで子どもの健康面の取り決めに保護者に伝えています</u> 保護者に配付・説明する入園のしおりや重要事項説明書には、健康面について園の取り決め、健康管理や病気発症時の対応・緊急時における対応などを明記し、園長からのメッセージとともに伝えています。毎月の園だよりのメッセージや記事からも、子どもの怪我や病気の予防、救急対応などの情報を発信しています。感染症が治った場合には医師の承諾を得た登園許可証を提出や法定伝染病の場合は医師の診断書の添付なども伝えています。また、乳幼児突然死症候群の予防対策である睡眠チェックの実施についても、保護者に説明しています。			
8	評価項目 8		
	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点（○○○○○）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
	評価項目 8 の講評		
	<u>保護者の家庭や就労の状況に配慮しつつ保護者同士が顔を合わせる交流を再開しています</u> 入園時の保護者面談では、子育てや就労など一人ひとりの状況を慎重に聞き取っています。連絡帳や送迎時の対話、個人面談から得た子どもや保護者の状況に応じ、子育てに対する不安や想いも把握して、できるかぎり配慮した援助に努めています。急な延長保育の利用にも柔軟に対応しています。家庭環境の変化は、「家庭状況」の更新にて把握しています。今年度は、クラスごとの保育参加やかけっこ大会など保護者参加を再開し、保護者同士が交流する機会になりました。 <u>個人面談や園だより、園長からのメッセージ等で保育を共通理解できるようにしています</u> 園はコミュニケーションを大切に保護者との信頼関係の構築に努めています。園長の指導のもと全職員が気持ちの良い挨拶や笑顔を心がけ保護者が話しやすい雰囲気努めています。登降園時には子どものエピソードを伝え保護		

者の子育てパートナーとして子どもの成長とともに喜び合います。連絡帳への返信では家庭の様子に応えながら、その日の子どもの様子を分かりやすく記入しています。玄関には子どもたちの活動や行事の写真を掲示しています。今回の利用者調査で「職員と相談することができるような信頼関係がある」に「はい」の回答は100%でした。

園独自に保育園評価アンケートを行い、保護者の共感を得ています

園は、年1回全保護者への保育園評価アンケートを実施し、保護者との信頼関係を築きながら保育運営ができた謝辞と『より良い保育』を目指す決意表明とともに集計結果を報告しています。「園は毎日やさしく声かけ、ほほえみかけています」で始まる12項目の問への回答は、「はい」が88%～100%と高評価です。「子どもが心身共に健康に育った」「成長を感じる」「話が上手になった」「離乳食の指導が分かりやすかった」「先生全員が誠実に対応」などの保護者の声に、大切な乳幼児期の子育てに関わった職員一同の謝辞で報告を閉じています。

9

評価項目 9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点 (〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目 9 の講評

子どもたちは公園など自然に触れる機会を多くもっています

園は商店街に隣接し駅も近く、周辺にはさまざまな規模の公園が多くあり、「お散歩マップ」には戸外活動の目的地として園からのルートや注意ポイントを掲載しています。自然に触れる機会を多く持っています。かけっこ大会では、戸外活動でかけっこをしている公園を会場に開催を計画し、0歳児かけっこコースや親子競技の企画に多くの保護者が参加し、楽しかった声が集まりました。行事で交流がある商店街の公園に花を植える活動に参加、店頭で子どもたちの絵を展示するなど、園では負担のない範囲で子どもが地域の人と交流できる機会を作っています。

園行事への協力をきっかけに商店と子どもたちの関係が生まれ地域に広がりが見られます

園の行事ハロウィンでは、仮装した子どもたちが商店街にくり出し、近隣の商店の協力により、事前に預けたお菓子をもらい受けました。ハロウィン当日を0歳児の保育参加として、出発準備から保護者が参加して商店街に同行して一緒に楽しみました。以来、散歩する子どもたちに商店から声をかけてもらい、子どもたちは挨拶に立ち寄り関係が出来ています。降園時には商店街で買い物する親子も多く、店舗で子どもの様子を話題にする店員さんから話を聞いた地域の人が声をかけてくれるなど、園では、子どもを見守る気持ちの連鎖を実感しています。

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	3-3-1	透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる
タイトル①	小規模な園ながら、様々な実習生を積極的に受け入れています	
内容①	定員19名の小規模園ながら実習生の受け入れを積極的に行っています。地域の総合病院の看護学生の実習を昨年度は6名受け入れ、今年度も同様に受け入れています。以前かわりを持ったことがきっかけで当園で受け入れをしましたが、現在は東京地区の系列の小規模園含め法人全体に広がり、毎年受け入れています。保育実習生も受け入れています。小規模園ながら専門性を活かし、実習生の実りある機会を提供するとともに将来の人材の育成にもつなげたいとしています。子どもたちが多様な世代と交流を図るとともに、法人全体で園の透明性も高めています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育と通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	毎日の戸外遊びで思い切り身体を動かし、多くの発見や四季の彩りを楽しんでいます	
内容②	園庭のない小規模な園ですが、毎日の戸外活動を積極的に取り組み、子どもは興味や関心を膨らまし夢中で遊んでいます。天気の良い日は毎日散歩に出かけ、四季折々の自然に触れて、五感に刺激を受けながら、子どもたちは発見したすべてを体験しています。今回の利用者調査でも、「毎日違う公園へ連れて行ってもらい感謝している」、「バッタなど触れるようになり、お土産にどんぐりを持ち帰るなど自然と触れあう機会が多い」など、多くの保護者から感謝の声がありました。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	一人ひとりの子どもが安心して過ごせるよう、園と保護者と一緒に取り組んでいる	
内容③	園では、職員全員が気持ちの良い挨拶や笑顔を心がけ、保護者の話やすい雰囲気につなげています。連絡帳及び登降園時の対話では子どもの様子を保護者に伝え、相談にも応じています。外国籍の家庭など含め、子ども誰もが安心して過ごせるよう、保護者とは子育てパートナーとして取り組んでいます。今回の利用者調査では満足度100%で、「些細なことも相談しやすい」、「小規模で先生方の目が行き届いて安心」などの声が多くありました。また、年度末の園独自の「保育園評価」の結果を掲示など、オープンな姿勢が保護者の信頼を生んでいます。	

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	小規模園ならではの強みを活かした保育姿勢で子ども一人ひとりの発達や情緒を育み保護者の安心感や信頼感、満足感につなげています
	内容	小規模園ならではの、職員誰もが子どもに大切に関わることを保育姿勢としています。子どもが歌に合わせて体を動かし、絵本を読み手をたたく、音の出る手作りおもちゃで遊ぶなど楽しい保育環境を工夫しています。手づくりキッチンセットを使い見立て遊びで友だちとかかわり、自然な形で言葉が出るきっかけにも努めています。職員は、信頼関係の中で言葉を発することを研修で学び、愛着関係に努め、手本となる言葉遣いを心がけています。また、家庭的で温かい雰囲気の中で子どもの発達や情緒を育み、保護者の安心感、信頼感、満足感につなげています。
2	タイトル	コロナ禍を経て、“保育参観”から今年度は“保育参加”に発展させ、保護者は園の保育運営への理解を深めています
	内容	コロナ禍も落ち着き、昨年度から保育参観を再開し子どもの普段の姿を確認できると好評でした。今年度はさらに、ハロウィン行事の当日に0歳児の保育参加を計画しました。子どもたちが仮装して商店街を巡る出発前の準備から保護者に参加してもらい、子ども達と一緒に全工程を楽しみ、行事運営に協力を得ました。かけっこ大会では、0歳コース設定や親子競技を計画し、多くの保護者の参加で盛大な行事となりました。また、日常の戸外活動の場所を保護者に知らせ、こっそり参観する機会も計画し、保護者には園の取り組みへの理解を深めています。
3	タイトル	職場の人間関係を大切にすることで、子どもと保護者、職員にとってよい保育環境となっています
	内容	小規模な事業所であればあるほど、そこで働く職員の人間関係が保育に大きな影響を与えます。そのため園長は良好な人間関係を醸成するために、積極的にコミュニケーションを図ることを心がけています。お互いが気兼ねなく発言できる雰囲気をつくることで職員の一体感が生まれ、子どもにも保護者にも丁寧な関わりができています。職員アンケートでは「クラス内だけでなく、園全体で悩みや現状を把握し、解決への話し合いができています」「職員同士が仲よく、楽しみながら保育ができています」など、よい保育環境が整っていることを示す回答が見られました。

No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	法人全体が連携・協力することで、突発的な事象にも対応できる安定的な人員配置体制を構築することが期待されます
	内容	定員19名の小規模な園で、常勤・非常勤を含め9名の職員で園の運営を行っています。各クラスについて配置基準は満たしているものの、有給休暇などの休暇取得者がいる中で体調不良や家庭の事情等の突発的な出来事が重なると、シフトを再調整するのに苦労を要することも度々あるようです。感染症の流行や育児・介護など急に職員が休むリスクは多々考えられます。園単独で考えるとギリギリであっても、系列園の連携や協力があれば安定的な運営も可能であると思われます。法人全体で適正な人員確保に努め、安定的な人員配置ができることが期待されます。
2	タイトル	手順書やマニュアルが最新であることを明確にするためにも、作成や更新の年月を記入することが望まれます
	内容	園にある手順書やマニュアルは法人が雛形を作成し、当園の置かれている状況に応じて手直ししながら活用しています。見直しをして更新したマニュアルを常に最新のものとしていますが、マニュアルに作成や更新の年月が記載されていないものがあり、いつ見直されたのかが判然としない状況でした。作成や更新の年月の記載がなければ、せっかく見直した内容が手違いで反映されていなかったり、見直しから漏れていても気づかないことも考えられるため、最新版であることが明確となるよう更新年月を管理することが望まれます。
3	タイトル	事故報告書やヒヤリハットに積極的に取り組むことで、リスクマネジメントに対する意識の向上を図ることが期待されます
	内容	日常の保育の中で事故報告書やヒヤリハットの記録を行っていますが、年に数件と少ない状況です。何が事故に該当し、何がヒヤリであるか等を含め、園全体で共通認識を図っていくことも必要と見受けられます。事故報告書やヒヤリハットが職員から出やすくなるような工夫をし、アクシデントやインシデントの分析を通して、日々の保育を振り返る機会にもなります。幸い今まで大きな事故は起こっていませんが、園全体でリスクマネジメントへの意識の向上を図り、子どもや保護者にとってより安心安全な園となることが期待されます。